



国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路 七尾城山IC～七尾大泊IC間

平成25年3月24日(日)に開通

～ 七尾氷見道路の石川県内区間で初の開通！！ ～

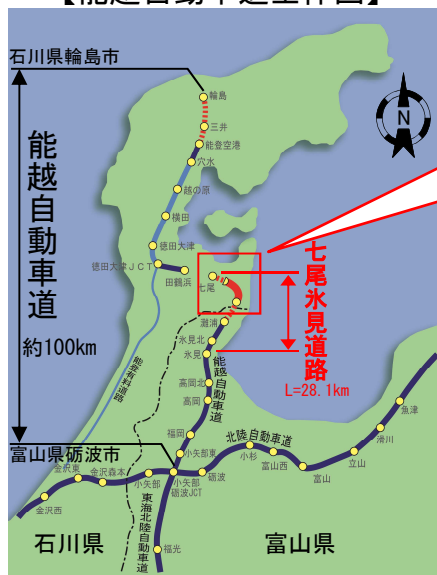
金沢河川国道事務所では、能越自動車道七尾氷見道路の整備をしています。

このうち、七尾城山IC（七尾市^{や た まち}矢田町地先）～七尾大泊IC（七尾市^{おおとまりまち}大泊町地先）間の約9.3kmが、3月24日（日）に開通します。

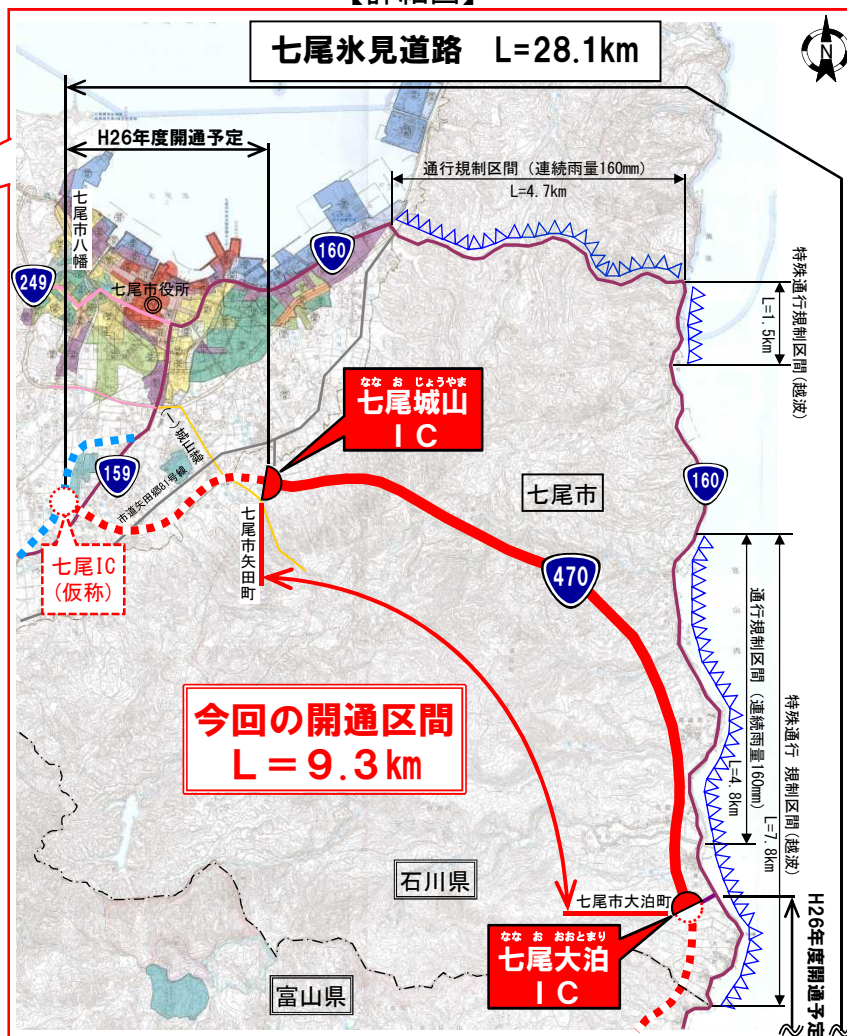
なお、七尾氷見道路の石川県区間で初の開通であり、無料で通行することができます。

開通時間等の詳細については、後日お知らせします。

【能越自動車道全体図】



【詳細図】



※七尾氷見道路の整備効果などについては、次ページ以降の参考資料をご覧ください。

お問い合わせ先

北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 調査第二課長 大下 陽一
 電話：076-264-9912（直通） F A X：076-233-9631 ※番号通知設定でお掛け下さい

■能越自動車道の事業計画概要

総延長 (約100km)	石川県 (約55km)															富山県 (約45km)																					
	輪島 IC	6.8km	三井 IC	4.7km	能登 空港 IC	6.2km	穴水 IC	4.1km	越の原 IC	11.8km	横田 IC	11.1km	徳田大塚 IC	5.1km	田鶴浜 IC	9.5km	七尾 IC	3.2km	七尾 城山 IC	9.3km	七尾大沼 IC	7.1km	瀧浦 IC	5.7km	氷見北 IC	2.8km	氷見 IC	11.2km	高岡北 IC	4.5km	高岡 IC	6.8km	横田 IC	4.5km	小矢部東 IC	2.4km	小矢部 新道 JCT
	事業化年度	H24		H18		H9		S47					H元		七尾氷見道路 H8					H4		H2		H元		S63		H元									
供用年月日					H18.6.10 (暫定2車線)		S55.3.29(暫定2車線)					H10.4.19 (暫定2車線)		H25.3.24 (暫定2車線)				H24.3.25 (暫定2車線)		H21.10.8 (暫定2車線)		H19.4.15 (暫定2車線)		H16.6.13 (暫定2車線)		H12.7.19		H8.3.28									

構造規格：第1種第3級 80km/h

The diagram shows a cross-section of a road passing under a semi-circular arch. The total width of the road is 9.50m. This width is divided into four equal segments of 1.25m each, with two 3.50m segments in the center. Two cars are positioned on the road, one on each side of the center. A central point is marked with a 'C'.

七尾氷見道路全線が整備されることにより、七尾市から氷見市までの所要時間が約40分短縮される見込みです。また、平成26年度に開業予定の北陸新幹線を利用する能登地域への観光客などの利便性向上が期待されます。

七尾氷見道路の事業効果について

効果① 災害発生時等の代替ルートが形成されます!!

【現状と課題】

七尾氷見道路と並行する国道160号では、連続雨量や越波によって通行規制が発生（年平均約2回）していますが、周辺には代替となる路線がありません。

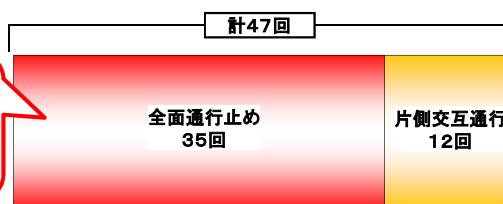
【期待される整備効果】

国道160号で通行規制が発生しても、七尾氷見道路が代替ルートとして活用され、緊急時における周辺地域の安全性が向上します。

■並行路線である国道160号七尾市大田町～大泊間における通行規制実績（過去25年間）



平成23年1月には
法面崩壊による土砂が道路を塞ぎ、
約1日間の全面通行止めが発生!!
(庵町地内)



写真①：越波による冠水
(国道160号七尾市佐々波町地先)



写真②：法面からの土砂崩壊
(国道160号七尾市庵町地先)

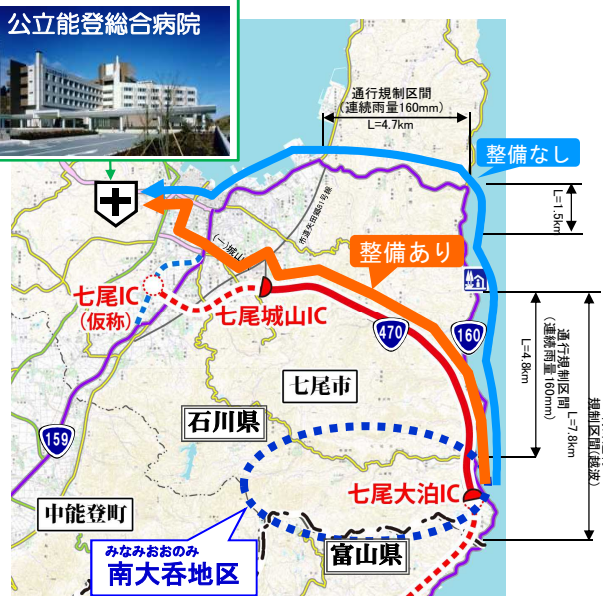
効果② みなみ おお の み 南大呑地区の救命救急活動に寄与することが期待されます!!

【現状と課題】

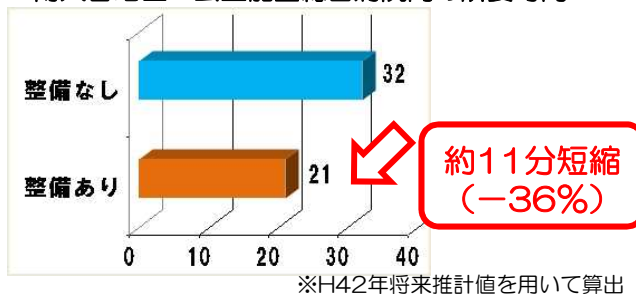
七尾市南大呑地区は、第三次救急医療機関である公立能登総合病院の30分搬送エリア外であります。また、事前通行規制区間のある国道160号を利用するなど、迅速な救命救急活動が困難です。

【期待される整備効果】

七尾氷見道路の開通により、事前通行規制区間の通行を回避出来ると共に、公立能登総合病院までの搬送時間が約11分短縮することが見込まれ、迅速な救命救急活動に寄与します。



■南大呑地区～公立能登総合病院間の所要時間



■救急患者搬送者の声

【七尾鹿島広域圏事務組合消防本部】



現在、南大呑地区から七尾市内の病院へ救急搬送する場合は国道160号を利用していますが、七尾氷見道路の整備により多くの搬送が当該道路へ転換すると予想されます。

効果③ 安全な走行環境が確保されます!!**【現状と課題】**

七尾氷見道路に並行する国道160号では、死傷事故が多発しています。

【期待される整備効果】

国道160号の交通が七尾氷見道路に転換し、国道160号の交通量が減少することで、死傷事故件数の削減が期待できます。



※出典：事故ゼロプラン

効果④ 物流効率化が期待されます!!**【期待される整備効果】**

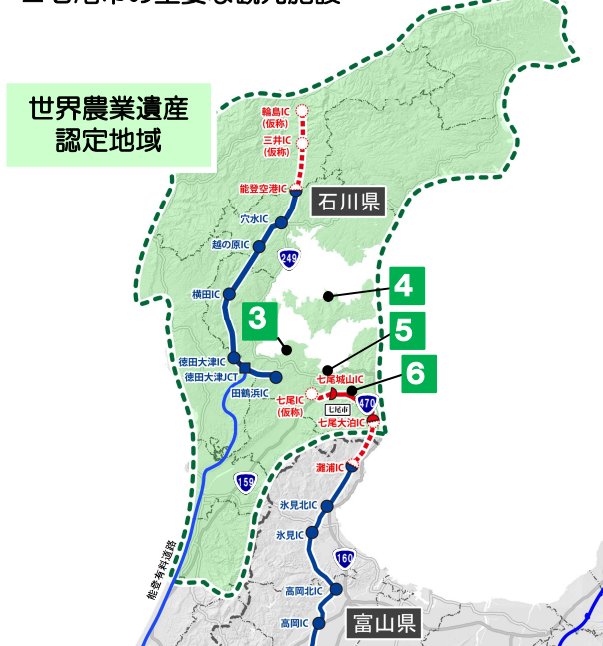
七尾港は、エネルギー確保や木材等の流通の拠点となっている重要港湾です。七尾氷見道路の開通により、七尾港をはじめとした物流の効率化や地域経済の活性化が期待されます。



※出典：H23七尾港統計年報

効果⑤ 観光地へのアクセスが向上します!!**【現状】**

能登地域には優れた里山景観のほか、伝統的な文化や技術が多く残っており、平成23年世界農業遺産「能登の里山里海」の認定により、国内だけでなく世界からも多くの注目を集めています。

■七尾市の主要な観光施設**【期待される整備効果】**

七尾氷見道路の開通により、富山方面から能登方面の観光地へのアクセス性が向上し、H25年3月末より無料化となる「能登有料道路」との連携で、H26年度に開業予定の北陸新幹線を利用する能登地域への観光客などの利便性も向上し、より一層の観光客数の増加と地域活性化に寄与することが期待されます。

3 和倉温泉

観光入込数:92.1万人

4 のとじま水族館

観光入込数47.4万人

5 能登食祭市場

観光入込数:74.1万人

6 青柏祭

観光入込数15.0万人

※出典：統計からみた石川県の観光（平成23年度版）

◆世界農業遺産とは

「世界重要農業資産システム：GIAHS」の略称で、後世に残すべき生物多様性を保全している農業上の土地利用方式や景観について、国連食糧農業機関（FAO）が認定。日本では、能登地域と佐渡市の2地域のみが登録されている。